



令和6(2024)年8月例会ご案内

(第44回 夏季 公開講演会)

主催：平群史蹟を守る会 後援：平群町教育委員会



日 時 令和6年8月3日(土曜日)

受付：午後1:00～

講演： 〃 1:30～3:30 (予定)

会場：平群町総合文化センター1階 くまがしホール

入場無料：入場は先着順で定員370名に達し次第締切り

(午前8時に平群町に警報発令の場合は、翌4日(日)同時刻に延期)

講 演

演 題 「推古21年の大道」
講 師 柏原市立歴史資料館 館長
安村 俊史 先生

【講演概要】

『日本書紀』推古21年(613)の条に、「難波より京に至る大道を置く」とある。従来この大道(おおみち)とは、河内から竹内峠を越えて大和に入るルートと考えられてきた。しかし、この道は大和川に沿って、渋河道、龍田道、太子道を通るルートではないか。推古21年の大道のルートと、それが設置された歴史的背景について考えてみたい。

【お 願 い】

☆入場は先着順で定員370名に達し次第締め切られます。史蹟を守る会々員の方は早目入場にご協力をお願いします。

☆講演会当日【8月3日（土）】は、午前9時30分より役員で会場準備をします。また、入場受付作業の混雑が予想されます。

つきましてはご都合のつく幹事及び会員の皆様のお手伝いをよろしくお願い致します。

2024年7月例会報告(7月14日(日))

《バスツアー：池上曾根遺跡公園を訪れる》

梅雨末期の怪しげな雲行きの中、起点の役場前駐車場を定刻の8時45分に出発。途中、香芝SAで小休憩の後、三連休の中日で車の少ない西名阪を快適に走り、最初の訪問先の大阪府立弥生文化博物館に着いた。

ここは我が国屈指の弥生時代の資料を展示する博物館で、同館学芸員の飯村さんの説明で約一時間拝観した。展示物で目に付いたのは弥生家族一家団欒の食事風景で、2000年前も今と変わらない営みがあったことに親しみを覚えた。見学後、博物館の軒下ベンチで各自持参のお弁当を開いた。



弥生文化博物館に到着

午後は曇り空の中、徒歩で池上曾根遺跡公園中心部にある復元大型建物と刳抜き井戸を見学した。建物の直径60cmの柱の太さと直径2.3mのクスノキ製の井戸の大きさに、弥生人の力に驚かされた。更に北方向に歩き、池上曾根遺跡学習館に着いた



弥生家族一家団欒の像

ここは池上曾根遺跡出土の大型掘立建物の柱と、大型刳抜き井戸の実物が展示されていることで有名で、ガラス張りの床の上からこわごわ見学した。

また、数日前の新聞報道「大型掘立建物の柱を年輪年代法で再調査」の結果、同じ建物の柱の中に700年も古い柱が含まれている」が話題になった。

ここを最後に来た道に戻り、予定より30分程早く役場前駐車場に着き、解散した。

参加の皆様ご苦勞様でした。 [バスツアー参加者 18名]



弥生文化博物館



池上曾根遺跡



池上曾根弥生学習館



展示ホール

企画部からの報告及びお知らせ

I. 夏季公開講演会資料等準備作業が行われました

8月3日の夏季公開講演会に向け、6月25日(火)にポスター・チラシ・掲示依頼書・各種案内状等の印刷を行い、会員・県内官公庁・記者クラブ・民間団体・町内各所施設等への配布準備作業が行なわれました。



II. お知らせ

7月23日(火)の予定でお願いしていた「講演会レジメ印刷・仕分け作業」は中止します。(これは都合によりスケジュールを一週早めて7月16日に印刷を終わったためです)

お手伝いを予定されていた方は申し訳ありません。今後ともよろしくお願ひします。

みんなのひろば

7月会報の「みんなのひろば」では「～～病気のデパートや～～」と病気の経歴が披露されていましたが、私もそれにはとても太刀打出来ませんが、このところ老化によると思われる体調不良が起き始め、これまで元気が取り柄の自信が揺らいでいます。

その第一は「たちくらみ」です。急に立上がったたり、階段を急いで登ると目まいがして最悪倒れたことがあります。

また、背中の筋肉痛も問題です。これらは血流の悪化が原因かと考え、掛かりつけ医処方薬を飲んだり、4月からは評判の良いと言われる滋賀県大津市の「鍼灸院」に通っています。

この他にも目や耳の部品の劣化も人並みにありますが、せめて例会には元気に参加でき、楽しめるように摂生に努めたいと思う今日この頃です。

[河本]

《会員のみなさんへお願い》

「みんなのひろば」の原稿を募集しています。

日常生活の中でのこと・詩・俳句・旅行記・会への要望等
内容は問いません。よろしくお願ひします。

尚、投稿については会長までご連絡ください。(編集部)